

環境学委員会 環境科学・環境工学分科会
環境工学連合小委員会（第26期・第1回）
議事要旨

日 時 令和6年5月28日（火）12:30～13:20

会 場 日本学術会議6-A(1)会議室、オンライン会議(ZOOM)

出席者：下田、森口、浅見、石森、一ノ瀬、梅村、加用、小林、醍醐、中井、
藤井、松山（記）（以上現地） 秋元、大河内、奥田、小澤、佐藤、
廣吉、村上（以上オンライン）

オブザーバー：湯浅（化学工学会事務局）、松崎（資源・素材学会/環境資源工
学会事務局）半田（空気調和・衛生工学会事務局）（以上現地）、足立（日本化
学会事務局）、橋口、森本（日本機械学会事務局）、矢野（資源・素材学会事務
局）

配布資料（メールにて事前配布済み）

資料1-1 環境工学連合小委員会（第25期・第8回）議事要旨

資料1-2 環境工学連合小委員会（第26期・準備会）議事要旨

資料2-1 環境工学連合小委員会設置提案書

資料2-2 環境工学連合小委員会委員名簿

資料2-3 環境工学連合小委員会委員名簿（学協会順）

資料3-1 第36回環境工学連合講演会プログラム

資料3-2 第36回環境工学連合講演会ポスター

資料3-3 第36回環境工学連合講演会論文集への世話人の寄稿文

資料4 第37回環境工学連合講演会のテーマ案について

資料5 第26期の小委員会活動の今後の予定と検討課題

議 事

議事に先立ち、定足数を満たしていることが確認された。

1. 前回までの議事要旨の確認

- 資料1に基づき森口世話人から説明があった。主な点は以下の通り。
 - 資料1-1に基づき、25期第8回小委員会の議事要旨を確認した。
 - 資料1-2に基づき、26期準備会の議事要旨を確認した。

2. 小委員会の設置経緯、役員の選出

- 資料2に基づき森口委員長から説明があった。主な点は以下の通り。
 - 資料2-1に基づき、本小委員会はこれまでの小委員会の活動を継承し、講演会活動をはじめとする環境工学分野の連携を充実することを目的に設置するものであることを確認した。
 - 資料2-2、2-3に基づき、26期の委員名簿を確認した。
 - 第26期の当小委員会の委員長の選出を行った。森口世話人より委員長に浅見委員、副委員長に秋元委員が推薦され、全会一致でこれを承認

した。

- 浅見次期委員長から、幹事として、今期幹事学会（化学工学会）から中井委員、次期幹事学会（日本機械学会）松山委員、および次々期幹事学会（空気調和・衛生工学会）からの小瀬委員にお願いしたい旨発議があり、認められた。

3. 第36回環境工学連合講演会の開催について

- 資料3に基づき幹事学会である化学工学会の中井委員から説明があった。主な点は以下の通り。
 - 事前登録者は530名、午前中の聴講者は200～300名の間で推移。
 - ポスターおよびタイムテーブルについてご説明があった。
 - 今回の講演会についてのアンケートを実施する予定。

4. 第37回環境工学連合講演会の開催に向けて

- 資料4に基づき幹事学会である日本機械学会の松山委員から説明し審議を行った。
 - 案①「先進サステナブル社会における環境工学の役割」案②「カーボンニュートラル実現に向けた環境工学の役割」より意見交換を行い審議の結果①の案で決定した。

5. 第26期の小委員会活動の今後の予定と検討課題について

- 森口世話人から資料5に基づき説明があった。主な点は以下の通り。
 - 各委員においては26期末（2026年9月末）まで在任いただけると有難いが、学協会側での都合上、期の途中で交代される場合はこの限りではない。交替される際は早めにご連絡いただきたい。
 - 2026年開催予定の第38回講演会（輪番では空調衛生調和学会が主幹事学会）について、テーマ候補の審議を早い段階から行えることが望ましい。その後については、日本学術会議の活動全般についての検討状況も踏まえて今後の小委員会で検討予定。
 - 過去の講演会の開催内容などの活動記録は収集済みであり、公開方法について検討中。
 - 環境工学連合講演会の開催以外にも、国際的な観点も含めた活動や連携の充実について、今後とも各学協会からの提案をいただきたい。
 - これまでの活動記録についてのアーカイブについて、HPに集約する。国際的な情報発信も検討したい。

6. その他

- 次回の委員会は9月2日（月）13時～15時オンライン開催とする。

以上